

ムソジャーナルもおかげさまで20号！ということで、今回の「世界のオーガニック事情」は一旦日本へ帰国。我ら日本が世界に誇る自然と寄り添うオーガニック村をご紹介します。

町ぐるみで有機農業に取り組む、名水の町

## 宮崎県 綾町(あやちょう)

去る7月、当社は社員旅行として宮崎県の綾町を訪れました。「有機農業の町」「照葉樹林都市」「名水の町」として知られる綾町には、自然と共生する町づくりを実践し、かつて西日本一貧しかった町を豊かな癒しの里へと蘇らせたとして、観光客はもとより、村起こし・町起こしの先駆的モデルとして学びに訪れる人が後を絶ちません。宮崎県のこの小さな町に年間120万人が訪れるというから驚きです。



面積 / 95.21 km<sup>2</sup> 人口 / 7349人(平成27年時点)

## 自然と調和した教育文化都市 綾町が目指すもの

### 1. 照葉樹林都市 綾

綾町には原生の姿を残す照葉樹林が日本最大の面積で広がっています。森は新鮮な空気や豊富な水を生み出し、100種類以上もの多様な



動植物が共存し、森の恵みを分かち合う自然の秩序が営まれています。この森は、「日本の自然百選」、「森林浴の森百選」、「水源の森百選」にも選ばれています。

### 2. 自然生態系農業の町

自然に恵まれた綾は後世に美しい自然と大地を残すため、町として昭和63年に「自然生態系農業の推進に関する条例」を制定しました。金・銀・銅といった綾町独自の農産物認定で、町ぐるみで環境に優しい農法を進めています。

### 3. 手づくり工芸の里

木工芸、陶芸、竹工芸、ガラス工芸など約40の工房があり、約190人の工芸家が丹精込めてオンリー1のモノづくりをしています。

### 4. 農村と都市の交流共生の町

綾ならではの自然資源を活用し、都会の人が農村の自然・文化・生活を味わい理解してもらおうグリーンツーリズムを推進しています。

### 5. 教育スポーツ合宿交流の里

国際・教育文化・スポーツ交流に力を入れており、プロスポーツ選手の合宿トレーニングも積極的に受け入れています。

### 6. 産業観光の町

自然や地域資源に密着した産業の振興を行っています。

## 綾町の歩み

綾町の歴史を紹介する上で欠くことはできない人物、前町長の郷田實氏。今でこそ全国的に有名な綾町ですが、戦後復興から高度経済成長の最中には、急速な工業化に取り残され職を失う人が続出し、西日本一貧しい「夜逃げの町」と揶揄されたそうです。そんな町を再建し、自然と共に生きる町としての礎を築いたのが、当時の町長・郷田實氏です。

大量生産、大量消費を良しとするその頃の世相は、自然や農業のあり方にも大きな影響を及ぼしました。開発の名のもとに環境は破壊され、生産性を求めて農薬を多く使用することが当たり前となった、そんな時代背景です。郷田氏はそれに異を唱え、自然と共生した農業、そこから得られる健康に良い本物の食を求める未来を訪れると訴えました。

行動を起こすにあたって郷田氏が注目したのは、綾町を困る豊かな照葉樹林でした。何も無い町を再生させるには、綾にある豊かな照葉樹林からなる山や自然を守り、それを活用すべきだと唱えたのです。林業活性化が国策だった当時、郷田氏への反対意見は後を絶ちませんでした。そんな逆風にも負けず、文字通り命がけて綾町の自然を守り、伐採の危機から見事に照葉樹林を救いました。守られた豊かな自然は自然型農業の起点となり、綾町は日本でも有数の有機農業の町へと変貌を遂げていったのです。

郷田氏の行った町再生の記録は「結いの心 ～子孫に遺す町作りへの挑戦～」に詳しく記されていますが、昭和40年当時より郷田氏が大切にしてきたことが、平成28年の今まさに価値を見直されていることばかりであることに気付きます。グリーンツーリズム、有機農業、地方の時代、文化交流、道の駅のルーツとも言える産直市場がそうです。

現在の綾町は、郷田氏のバトンをしっかり受け取った現町長前田穰氏の努力により、スポーツ・文化交流等が更に活性化。綾町のあり方に魅かれた移住者も年々増加し、就農する人、飲食店を経営する人、工芸作家など、古くから住まう人々と共にオーガニックなライフスタイルを楽しんでいるようです。

## 綾町周辺のナチュラルごはん

今回社員旅行で過ごした2泊3日、ほぼ毎食オーガニック、マクロビ食というなんとも贅沢な旅でした。  
綾町周辺のおすすめナチュラルごはんスポットをご紹介します。

### 薬膳茶房 オーガニック ごうだ

綾町前町長の長女であり漢方薬材師、薬膳管理師でもある郷田美紀子さんが営む薬膳レストラン。漢方薬局併設。



今回の社員旅行では、特別に「いのちをみつめる食」というテーマで講演をいただきました。「今日は地に足のついた話をしますね。」という言葉で始まったお話は一瞬で私達を惹きこみました。「いろんな食の情報やブームがあるけれど、結局本当に体に良いものが何なのかわからなくなる方がたくさんいます。今日は皆さんがブレないようにするためのお話をします。答えはとってもシンプルで、健康であるために必要なことは、「体を冷やさないこと」、「血汚さないこと」につきます。また、その土地に根差した旬のものを食べる事が変わらない答えです。」



お話の中で繰り返された、「本物」「共存共栄」という言葉の力強さがずしっと残り、講演はほんの1時間ほどでしたが、聞き終わった後全員が背筋の伸びるような思いになりました。

都市では「オーガニック」という言葉だけが独り歩きしがちな今日この頃ですが、オーガニックな人とは「自然との共生を楽しめる人」のことをいうのだろうと、改めて考えさせられる時間でした。

## 天空カフェ ジル

森、川、海を一望できる小高い丘の上にあるマクロビオティックビュッフェ。綾町在住のオーガニックな人々が集まるスポットです。オーナーの娘さんが発起人となったナチュラルマルシェ「青島サンデーマーケット」も要チェックです。宮崎県青島にて毎月第4日曜日開催。



## Foodaly

『できるだけ安全で できるだけ美味しいものを できるだけ近くから』がコンセプトのスーパーマーケット『フーデリー』。一見普通のスーパーに見えますが、当社の商品もお取り扱いいただいております。オーガニック・ナチュラル商品の品揃えも豊富です。



定期で行われる朝市では朝採れ有機野菜をはじめ、マクロビスイーツ、天然酵母パン、草木染めなどの手づくり雑貨、また植物性原料100%のベジラーメンなどこの日限りの飲食ブースも登場し、

おいしいものを求める人々で、朝9時の開店と同時に一斉に賑わっています。

## 綾手づくりほんものセンター



町内の農家から毎朝出荷される新鮮な野菜や果物、自然食品が並べられていて、現在全国に見られる「道の駅」の前身とも言われています。金・銀・銅と綾町独自の有機認証の印がついた商品がたくさん並んでいます。女子社員は目を輝かせて、稀少な金(有機)のフルーツを買い占めていました。(笑)

# 大山食品

今回の社員旅行を案内して下さったのは有機栽培玄米を原料とした有機玄米酢メーカー大山食品さんです。綾町を知るうえで要となるお店や人物を紹介下さいました。



## 昭和5年から80年続く三石和糴仕込み



創業者から受け継いだ製法をそのままに、今では時代遅れともいわれそうな自然の力だけで作る伝統製法を80年以上守り続けています。

有機栽培の米、麹、綾の名水、昭和5年より引き継ぐ種酢を入れ、仕込みます。手入れを行いながら、屋外の三石和糴(約450L)でゆっくりと6ヶ月間発酵します。三石和糴は対流がおだやかで、トゲのないまるやかな味を育みます。そして屋外タンクに移してさらに6ヶ月間の熟成を経てようやく出来上がります。



お酢だけでなく化学調味料無添加、ナチュラル素材で各種調味料も作っており、中でもストレートでおいしくアミノ酸補給ができるドリンク「アミノ黒酢」や柚子こしょうの効いた和風タバスコ「マーシー」が人気です。

たった3日間の綾町訪問でしたが、オーガニックを提唱する一員として学ぶことが多く、感動と自然の美しさに癒された社員旅行となりました。当社では大山食品さんの有機酢を海外へ輸出していますが、自然と共生する素晴らしい綾町で作られている商品なのだということを、生の言葉で発信していきたいと思えます。

# TOPICS

## What is インバウンド!? - その1 -

昨今「インバウンド」という言葉を頻繁に耳にしますが、当社でもカフェや自然食品店様より「海外のお客様がが増えてきたのですが、むそうさん、お店で役に立ちそうな海外情報があればシェアして下さい」とお声かけ頂くことが増えました。海外有機市場の大きさからしてもわかる通り、海外旅行者の中には自然派志向や菜食の方も多く、需要は右肩上がりです。当コーナーでは自然食専門商社ならではの生の情報を活かして、こうした方々をターゲットとしたお役立ち情報をご紹介します。

そもそもインバウンドってどういう意味でしょう？

インバウンドとは：外国人旅行者を自国へ誘致すること。

インバウンド対策商品：海外旅行者をターゲットとした商品。

昨年の訪日外国人客は1,973万7千人、訪日外国人旅行消費額は3兆4,771億円と過去最高額を記録しており、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて政府は、同年には2,000万人を目標として設定しています。



訪日外国人は、何を買っているのか？

消費単価の半分近くを占める買い物代の内、6割強が「菓子類」購入、5割強が「その他食料品・飲料・酒・たばこ」等を購入していることが分かります。

	購入率	単価(一人あたり)
菓子	63.6%	9,779円
食品・酒・タバコ	51.7%	11,464円
化粧品・医療品	63.7%	40,653円
服・鞆・靴	37.2%	32,343円
和服	14.0%	12,538円
電気製品	13.5%	40,942円
カメラ・時計	9.4%	65,626円
漫画・アニメ	12.0%	10,967円

出典：観光庁「訪日外国人の消費動向 2014年 年次報告書」

有機・ナチュラルに加えて取り入れたいポイント：

- ・グルテンフリー
- ・ベジタリアン
- ・英語表記パッケージ



東京五輪を見据えて、「食」の分野でも様々な取組みが見られます。味、見た目、繊細さだけでなく、食材自体がナチュラルかどうかといった点にも、目を向けてもらえるよう当社では積極的に情報発信を行って参ります。次号もお楽しみに！